

施策評価シート(令和4年度実績評価)

◎施策の基本情報

政策No	0301	政策名	子育て環境の充実	施策主管課	こども課	課長名	大川 尚子
政策の目指す姿		子育てに喜びを感じ、安心して、健やかな成長を育んでいます					
施策No	03	施策名	就学前教育の充実	関係課名			
施策の目指す姿		保育園、幼稚園、認定こども園から小学校へスムーズな接続ができています					
現状と課題							
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公立保育園・幼稚園園舎の老朽化が進んでいます。 保育・教育ニーズや市内保育・教育施設入園者数に地域的偏りがあります。 生活様式が変化するなかで体を動かす機会や、同年代・地域の人々との交流機会が減少し、就学前児童の体力や運動能力、コミュニケーション能力が低下しています。 小学校入校後の環境に馴染めない子どもや相手の立場を思いやれない子どもが増加しています。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 公立保育園・幼稚園園舎について、適切に維持・管理する必要があります。 保育・幼児教育ニーズに対応した、公立保育園・幼稚園の配置のあり方を検討する必要があります。 就学前児童の体力や運動能力、コミュニケーション能力の向上を図る必要があります。 保育園、幼稚園、認定こども園及び小学校の連携を推進する必要があります。 							

◎前年度の評価の振り返り

前年度評価時の今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> 保育・教育アドバイザーの設置とその活用について市内幼児教育・保育施設への周知を図るとともに、施設の要望に応じてアドバイザーを派遣し、各園の課題にあった指導・助言を行うことで市内全体の保育士等の保育・教育力の底上げを図る。

反映状況

<p>・就学前施設における保育や教育に対する助言を行う「保育・教育アドバイザー」の活用について市内園長会議等を通じて案内し、園からの依頼を受けアドバイザーを派遣した。保育士や保育教諭は業務やシフトの都合上、外部で開催される研修会に複数同時に参加することは難しいが、保育・教育力の向上には職員の共通理解が必要であり、アドバイザーが園訪問し、子どもの発達を読み取る視点や、発達段階の見直しをもった保育の実践などについて直接指導・助言を行ったことで園職員間で共通理解が図られ、それが職員の保育・教育力の向上につながった。</p>

1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組

<p>(1) 保育・教育環境の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 〔公立保育所・幼稚園施設の維持管理〕 計画に基づいた公立保育園・幼稚園の維持補修及び定期的な施設・設備点検、西公園保育園屋根塗装、太田保育園屋根塗装設計遊具補修、屋外用防犯カメラ設置等 〔公立幼稚園の適正な配置、あり方の検討〕 花巻市公立保育園・幼稚園の適正配置に関する基本指針に基づく適正配置の取り組み（土沢幼稚園の閉園） 〔私立幼稚園の振興に対する支援〕私立幼稚園の入園料・保育料の無償化給付、預かり保育利用料補助の実施 <p>(2) 就学前教育の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 〔市内全園の保幼こ一体による就学前教育の推進〕市内幼児教育・保育施設及び小学校への就学前教育の推進に関する情報提供 〔保育、教育の充実〕保育者育成指標に基づいた各種研修の実施（公立）、各種研修会の実施（公私）、保育・教育アドバイザーの派遣 〔保幼こ小接続カリキュラム実践等の保幼こ小の連携推進〕 各地域の計画に基づく連携交流の実施 保幼こ小連携研修の開催 〔運動能力向上の推進〕公立保育園における運動能力検査の実施 〔児童期の発達に対する適切な支援〕幼児のことばの発音等の課題の早期発見と発達支援 〔地域の人材の活用促進〕地域人材を活用した体験活動等の取り組み
--

2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位	区分	H31	R02	R03	R04	R05	R06
小学校1年生が入門期となる4～5月の学校生活に適応できていると捉えている学校の割合	保育園・幼稚園から小学校における「保幼こ小接続期のカリキュラム」を活用し保育・教育の成果を示す指標	出典：こども課 小学校1年生担任アンケート 問：身支度ができる、集団行動ができる、学習のルールがわかるか。	%	目標値	88.00	88.00	89.00	89.00	90.00	
				実績値	89.50		98.03	92.13		
				目標値						
				実績値						
				目標値						
				実績値						

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
A	<p>■成果指標「小学校1年生が入門期となる4～5月の学校生活に適切できていると捉えている学校の割合」…【達成度a】 達成度は前年より5.9%低下したものの、目標値を上回っている。学校では1年生が早く学校に適応できるようスタートカリキュラムに従って指導しているが、入門期は個人差が大きいことをふまえ、一人ひとりとの会話を大切にしたりゆとりを持った指導を心がけたりするなど、工夫して指導を行っていることが成果につながっていると考えられる。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

①市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストの割に成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか
なし
<p>施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか</p> <p>(はなまき保幼一体研修事業)市内の就学前施設に対し、保育・教育アドバイザー派遣事業の取組事例や成果を紹介しながら活用を促し、市内保育士等の保育・教育力の底上げを図る (幼児ことばの教室事業)保護者のニーズに対応しながら、一人ひとりの課題に即した指導を継続して行う必要がある</p>
<p>新たに取り組むべき事業はないか</p> <p>5歳児から小学校への円滑な接続を目指すカリキュラムの検討・作成 (文部科学省では令和4年度から3か年程度を念頭に、全国的な架け橋期の教育の充実とともに、モデル地域における実践を並行して集中的に推進していくこととしている)</p>

5 施策の総合的な評価

課題
<ul style="list-style-type: none"> ・保育・教育アドバイザー派遣事業は実施初年度であったことに加え新型コロナウイルス感染症の影響もあり、派遣依頼が少なかったため、派遣事業の目的や取組事例、効果について周知していくことが必要である (令和4年度の私立園からの派遣依頼:5件 ※うち1件はコロナの影響により中止) ・ことばの指導の継続が望ましい子どもが増加していることから、ことばの指導員の指導力の向上を図るとともに、就学先でのことばの指導が円滑に行われるよう支援していく必要がある ・幼児教育から小学校教育に移行した際の、教育の内容や方法の違いによる「段差」を低くするため、これまでアプローチカリキュラムやスタートカリキュラムを作成し取り組んできたが、互いの行事を見学するなどの取組にとどまっていることから、学びの連続性に配慮した一体的なカリキュラムを作成する必要がある
今後の方向性
<ul style="list-style-type: none"> ・園長会議や園訪問等の機会を通じ、保育・教育アドバイザー派遣事業の目的や取組事例、成果について情報発信し、活用を促す ・効果的なことばの指導ができるよう、専門研修等への参加により指導員の指導力向上に努めるとともに、指導内容について就園先や小学校と情報共有を図る ・保育園、幼稚園、認定こども園、小学校が共通の視点を持ち、5歳児から小学1年の2年間を対象とした「架け橋期」のカリキュラムの検討と開発を行う

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	はなまき保幼一体研修事業費	こども課	一致	直結	B
	保育園・幼稚園・認定こども園等職員を対象とした研修 (9回開催受講者延べ325人)				
020	幼児ことばの教室事業費	こども課	間接・少数	直結	C
	幼児を対象としたことばの検査及び指導の実施 (ことばの指導実施幼児数48人)				
030	幼稚園教育環境充実事業費	こども課	間接・少数	間接・補完	-
	私立幼稚園運営費補助、子育てのための施設等利用給付、特定施設2歳児就園支援費補助				
040	保育所保育環境充実事業費	こども課	間接・少数	間接・補完	-
	公立保育園の施設環境整備 (西公園保育園屋根塗装、太田保育園屋根塗装設計、屋外用防犯カメラ設置:9園、遊具補修、冷暖房機更新 等)				